

科目名	ビジネス法特講	担当者	ナカムラ 中村 リョウ 良	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>経済法という法典は存在しません。また経済法をどのように考えるかについては、諸説あります。ビジネス法特講においては、「市場支配」に対する国家による規制法と定義し、私的独占の禁止および公正取引確保に関する法律（以下、独占禁止法とします）をその中心と考えます。</p> <p>経済法を理解することなく事業活動を進めることは、多くのリスクが予想されます。そこでリスクを回避するためにも、具体的な事例を通じて経済法（特に独占禁止法）を理解することが重要です。レポート1では、その中心的な概念である私的独占・不当な取引制限等の主要な概念を中心に勉強を進めて頂きます。レポート2では、不公正な取引方法、刑事罰・損害賠償・課徴金等を中心に勉強して頂きます。本講義の目的は、レポート作成を通じて受講生に抽象的な知識ではなく具体的な知識を取得する。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】</p> <p>ビジネス場面において、ビジネスの憲法とも言える独占禁止政策を理解し、違反行為を予防し、また被害にあわないよう損害を最小にする回避行動、損害賠償請求等ができるような知識・技能を修得する。になる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1 独占禁止法の意義・基礎概念をしっかりと理解する。（知識・想起）2 独占禁止法上の問題点を見いだせる。（知識・想起）3 問題回避のための必要な情報を調べられる。（知識・解釈）4 必要な情報を事例に適用できる（知識・解釈・技能）。5 バランスの取れた結果を導き出せる。（態度・反応）</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングに該当しない。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>1 独占禁止法の法律要件を抽象的に理解するだけでは、十分に理解したことにはなりません。典型的な事例を分析・検討することがとても重要です。まず、教材①で独占禁止法について概観し、次に教材②を熟読して、独占禁止法の意義、違法行為類型（要件）、執行手続、エンフォースメント等について勉強します。“自習研究”【20時間】</p> <p>2 1で身につけた知識を立体化するために教材②の文中で紹介されている判例・審決について教材③で確認して、レポートを作成して下さい。“レポート作成”【10時間】</p> <p>3 レポート課題への質問、勉強の仕方、資料の収集方法等について、担当教員とメールでディスカッションする。“ディスカッション”（nakamura.ryo@nihon-u.ac.jp）。【15時間】</p>		
スケジュール	<p>前期：基本教材1</p> <p>課題(1)：初稿は平成31年7月15日、最終稿は平成31年9月15日までに提出して下さい。</p> <p>課題(2)：初稿は平成31年8月15日、最終稿は平成31年9月15日までにお願いします。</p> <p>後期：基本教材2</p> <p>課題(1)：初稿は平成31年11月10日、最終稿は平成32年1月10日までに提出して下さい。</p> <p>課題(2)：初稿は平成31年12月10日、最終稿は平成32年1月10日までに提出して下さい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	①初稿の締切り、②内容（課題の正確な理解）、③構成（論理性）、④情報収集（必要な情報を収集しているか）、⑤文章表現力およびレポート作成過程における質問のやりとり（質問、および添削に対する対応等）。
履修者への要望	<p>1 基本教科書について不明な点、資料の調べ方等電子メールを活用し、どのような質問でも結構ですので、積極的に質問して下さい。</p> <p>2 新聞等で特に独占禁止法に関連する報道があれば是非調べてみて下さい。</p> <p>3 履修登録及びレポート提出時には必ず下記アドレスあてにメールをお願い致します。 nakamura.ryo@nihon-u.ac.jp</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>①公正取引委員会 HP (http://www.jftc.go.jp/) 「動画で分かる公正取引委員会」 ②著者名：泉水文雄、土佐和生、宮井雅明、林 秀弥 著者名： 教材名：『経済法（第2版）』（有斐閣 2015年） 教材名： ISBN 978-4-641-17928-8 定価 2,900円+税 ③著者名 舟田 正之（編集）、金井 貴嗣（編集）、泉水 文雄（編集） 教材名 『経済法判例・審決百選2版（別冊ジュリスト）』（有斐閣 2017年） ISBN-13: 978-4641115347 定価 3024円（税込み）</p> <p>教材①は独占私法を管轄する「公正取引委員会」が作成している「動画」です。平易な表現で説明していますので、法律を初めて勉強する方にもよい教材です。教材②は法学部さらには法科大学院の教科書として使用に耐える教科書です。少し難解かもしれませんが挑戦してみてください。教材③は、主として独占禁止法を理解するうえで重要な判例・審決について解説しています。</p>
参考図書	<p>著者名 根岸 哲（編） 書 名 『注釈独占禁止法』（有斐閣 2009年）ISBN978-4-641-01836-5 定価 7,000円+税 著者名 武田晴人 書 名 『談合の経済学』（集英社文庫 2006年）ISBN4-08-747091-1 定価 533円+税</p>
履修上のポイント	<p>独占禁止法の法律要件を抽象的に理解するだけでは、十分に理解したことにはなりません。典型的な事例を分析・検討することがとても重要です。まず、教材①で独占禁止法について概観し、次に教材②を通読し、独占禁止法の要件について勉強します。そして知識を立体化するために教材②の文中で紹介されている判例・審決について教材③で確認してください。不明な点は、担当教員にメール等で質問して下さい。</p>
レポート課題 1	<p>独占禁止法の目的について論じなさい 留意点：それぞれの説について検討するとともに、自らの見解も示してください。</p>
レポート課題 2	<p>「談合は、独占禁止法に違反するか論じなさい」 留意点：①談合とは何か。②何故談合が行われるのか。③談合は独占禁止法違反となるか。丁寧に検討するとともに、自らの見解も示してください。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>①公正取引委員会 HP (http://www.jftc.go.jp/) 「動画で分かる公正取引委員会」 ②著者名：泉水文雄、土佐和生、宮井雅明、林 秀弥 著者名： 教材名：『経済法（第2版）』（有斐閣 2015年） 教材名： ISBN 978-4-641-17928-8 定価 2,900円+税 ③著者名 舟田 正之（編集）、金井 貴嗣（編集）、泉水 文雄（編集） 教材名 『経済法判例・審決百選2版（別冊ジュリスト）』（有斐閣 2017年） ISBN-13: 978-4641115347 定価 3024円（税込み）</p> <p>教材①は独占私法を管轄する「公正取引委員会」が作成している「動画」です。平易な表現で説明していますので、法律を初めて勉強する方にもよい教材です。教材②は法学部さらには法科大学院の教科書として使用に耐える教科書です。少し難解かもしれませんが挑戦してみてください。教材③は、主として独占禁止法を理解するうえで重要な判例・審決について解説しています。</p>
参考図書	<p>著者名 根岸 哲（編） 書 名 『注釈独占禁止法』（有斐閣 2009年）ISBN978-4-641-01836-5 定価 7,000円+税 著者名 武田晴人 書 名 『談合の経済学』（集英社文庫 2006年）ISBN4-08-747091-1 定価 533円+税</p>
履修上のポイント	<p>教材②を精読するとともに、インターネット等を通じて資料を検索・検討してください。</p>
レポート課題 1	<p>「再販売価格維持制度とその適用除外について論じなさい」 留意点：独占禁止法は原則再販売価格維持行為を禁止しているが、例外を認めている。再販売維持行為を禁止する理由と例外を認める理由につき検討し、その妥当性について検討するとともに、自らの見解をしめすこと。</p>
レポート課題 2	<p>「独占禁止法違反を予防するために、どのような措置が考えられるか論じなさい」 留意点：現在の独占禁止法の執行方法について検討するとともに、より予防するためにどのような措置が考えられるか検討して下さい。</p>